

向陵だより

～「安全・安心で元気な学校」づくりのために～



今年度の重点教育目標

学校HP



『あなたも わたしも みんな たいせつ』

令和7年 5月30日（金）

4月からの2か月間で、「できる」ようになったこと

校長 神山 仁

- 子どもたちには、これまで「できなかった」ことが「できる」ようになる機会が、毎日のようにあります。平仮名が読めた、自転車に乗れた、かけ算九九が言えた、逆上がりができた、漢字を覚えた、難しい問題を解けたときの「できた！」という体験等を重ねながら、子どもたちは成長していきます。昨年度は子どもたちに、『努力のつぼ』という話を何度かしてきました。今年度も子どもたちに、何かの機会に話したいと考えています。



成長は、知識や技能だけのものではありません。学級の仲間のことと考えて行動したり、自分がどのような役割を果たせるかを考えて発言したりする等、人との関わり方を身に付けることも、大きな成長の一つです。もちろん、子どもの成長には、個人の差があります。そして、学年によっても目指すべき成長は異なります。しかし、どの子も様々な学びを通して、必ず成長します。子どもたちにとって、その学びの場の一つが学校であり、その成長を確認する機会に、学校行事があります。先日の運動会では、向陵っ子の、お子様の成長をご覧いただけたことと思います。そして、帰宅したお子様のことを、うんとほめていただいたことと思います。そのときのお子様はきっと、笑顔だったことでしょう。

子どもたちが笑顔を見せる瞬間は、楽しいときだけではありません。できるようになったことを大人に認められ、ほめられたとき、素敵な笑顔を見せてくれます。時には、照れ笑いになることもあるでしょう。私たち大人には、子どもが何かをできるようになったとき、「すごいな～！」とほめてあげる役割があるのだと思います。年を重ねた大人は、新たにできるようになることが子どもほど多くはありません。今までできていたことが、できなくなっていくものです。だからこそ、大人は子どもたちの頑張る姿や成長を見て、感じて、心動かされます。そのことで大人は多くのパワーをもらっています。



今後も引き続き、ご家庭でもお子様の頑張りを、成長をほめてあげてください。そして、お子様が気付いていない成長については、ぜひ伝えてあげてください。

- 子どもたちが学校生活の中で、最も多くの時間を過ごしているのは、授業です。授業の中で、どれだけ活動することが「できた」、分かることが「できた」、自分にも「できた」等の達成感をもたせられるか、「できた」ことを何に、どのようにつなげていくのか等について、本校では様々な取組を行っています。このことについては、学校通信でもお知らせしていきます。

今後も引き続き、多くの「できた！」が生まれるよう教育活動を進めてまいります。